

あびらの未来を、みんなで考える。

新しい総合計画づくりが始まっています

「総合計画」は、町の未来のかたちを決める大切な計画です。

現在、平成29年度から始まった第2次総合計画に基づき、令和8年度までの10年間で、さまざまな取り組みが進められています。

この計画は、教育や子育て、人づくりやコミュニティづくり、経済や産業、健康や福祉、生活環境や生活基盤など、安平町に関わるあらゆる分野の「方向性」を示す「まちづくりの設計図」であり、将来の「ありたい姿」を出発点として定め、そこに向かうための道筋が段階的に描かれていきます。

本ページでは、計画に関するお知らせや令和9年度からスタートする「第3次総合計画」の策定へ向けた町の取り組みなどについてお知らせします。

前回のおさらい

住民基本台帳から無作為に抽出した300名に対し参加案内をお送りし、ご応募いただいた10名の皆様とワークショップを4回実施しました。

これまで実施したアンケート調査結果などの情報を踏まえ、次の点をお聞きしました。

- ①この10年間の安平町はどうだったか、どのように変化したか
- ②この先の安平町は、何を大切にしたいまちであってほしいか

今回のおはなし

調査項目①「この10年間の安平町はどうだったか、どのように変化したか」について、第2次総合計画の6つの分野、Ⅰ子育て・教育、Ⅱ人づくり・コミュニティ、Ⅲ経済・産業、Ⅳ健康・福祉、Ⅴ生活環境・生活基盤、Ⅵ行財政運営に分けて内容をまとめています。

今回は、Ⅱ人づくり・コミュニティの続きからお知らせします。

協議内容（続き）

政策分野Ⅱ 人づくり、コミュニティ

【生涯学習、社会教育】

- ・スポーツセンターのジム設備が非常に充実しており「混まない、安い、綺麗」という理由で町外からも利用者が来るほど魅力的である。
- ・早来町民センターに合宿所機能ができ、プール・ジム・宿泊施設が一体となって、夏の涼しさを活かして道外のチームを呼び込むなど、スポーツ合宿の拠点として機能し始めている。

【スポーツ振興】

- ・部活などで全国的に活躍している人もいるが、町の皆様の実感としては薄いのかもしない。
- ・部活動が地域クラブへ移行した中で、子どもの送迎（アビーバスの利用や親同士の車出し）が課題となっていると感じる。

【交流】

10年前に課題として挙げられていた「旧町意識」は、「実生活の中で感じることはない」という印象を持っている。